

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	20	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	健康長寿協力湯事業		
所属名	福祉部 すこやか熟年課 孝行係	電話番号	(03) 5662-0314 (直通)

事業の目的・課題	事業の目的及び概要
	入浴効果により、熟年者の健康保持・増進を図るとともに、公衆浴場を利用して地域の人々との交流の促進及び地域活動への参加意欲を高めます。 利用者は通常入浴料金の半額で入浴できます。
	事業の開始年度 平成13年度事業開始
	現在の課題
	① 健康増進や住民相互の交流などを目的とした公衆浴場の利用を促進し、自家風呂を保有している方々の利用率を高めます。 ② 公衆浴場数の減少等により、自宅近くに公衆浴場がないという地域があります。

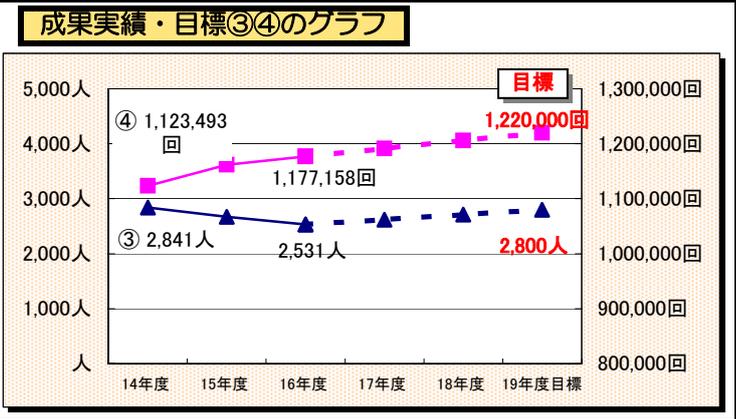
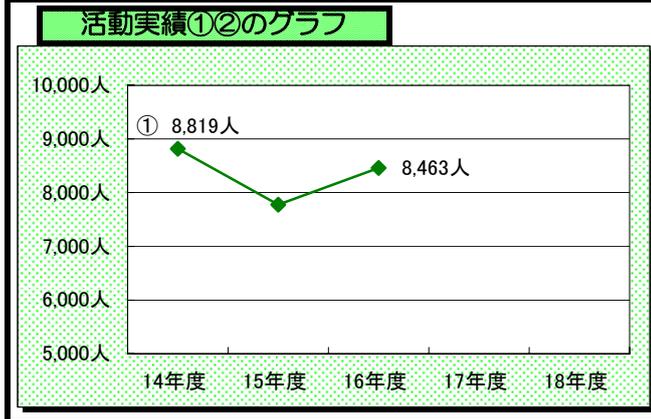
対象	事業の対象者と動向	<input type="checkbox"/> 区民全体	<input checked="" type="checkbox"/> 対象年齢あり (65歳以上)			
	[区人口・各年4月1日現在]	<input type="checkbox"/> 対象条件 ()			
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
	86,499人	90,561人	94,157人	97,879人		↗ 増加傾向
	備考：新たに対象となる方へ、区から入浴証引換券を送付しています。利用希望者は、引換券を公衆浴場に持参し、入浴証の交付を受けます。					

活動状況	活動指標	活動指標名	活動指標の説明
	①	入浴証引換券交付数	一年間に引換券を交付した人数 (新たに対象となった方へ入浴証との引換券を交付した数)
	②		

活動実績		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
	①	8,819人	7,776人	8,463人	人	人	※13~16年度の延べ交付者数:34,463人
	②				人	人	

成果指標	成果・目標指標	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
	③	入浴証交付数	一年間に公衆浴場で入浴証を交付した人数
	④	延べ利用回数	一年間に入浴証で公衆浴場を利用した回数 ※単年度の入浴証交付者だけでなく、13年度の制度発足以降、交付した入浴証交付者が1年間に利用した回数です。

成果実績・目標		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
	③	2,841人	2,673人	2,531人	人	人	2,800人	対象者(65歳以上の熟年者)数の増加に伴い、延べ利用回数も緩やかな増が見込まれます。
	④	1,123,493回	1,161,730回	1,177,158回	回	回	1,220,000回	



事業名 健康長寿協力湯事業

実施の根拠となる法令等

江戸川区健康長寿協力湯事業実施要綱

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり ※区内66軒の公衆浴場のうち、休業を除く63軒の協力を得ています。
委託等の内容（入浴証の交付事務、半額（契約料金）での入浴等）

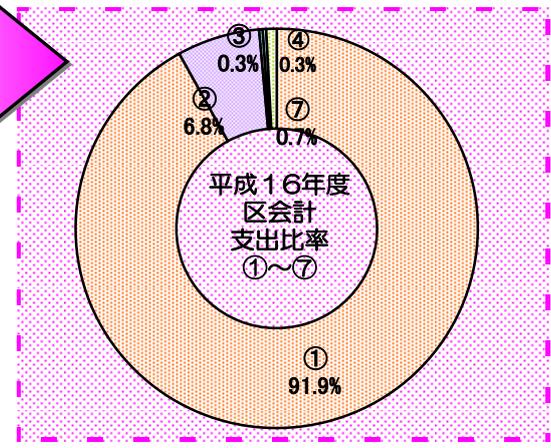
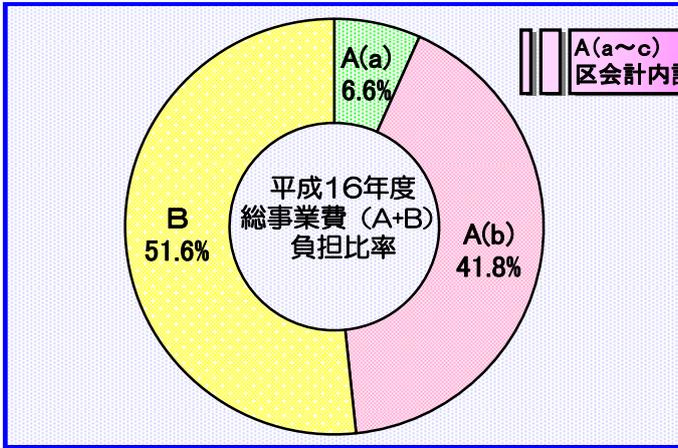
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	出前健康講座	公衆浴場組合と健康部が協力し、営業時間前に健康講座を開催しています。(16年度:16回)
②	お背中ながし隊	敬老の日に、区内小・中学生のジュニアボランティアが、背中を流すことで熟年者とふれあい、交流の場をつくる。
③		

その他背景・他の自治体の状況等

敬老入浴券（無料券）の配付や浴場の無料開放から、利用者負担を取り入れた事業に切り替える自治体が増えています。当事業と同様の事業としては、葛飾区の「くつろぎ入浴事業」など。

16年度総事業費 (A+B) 456,037千円



A 区の会計内訳 (a~c)

220,605千円

A(a) 国都支出金（歳入）	30,000千円	18年度以降は補助対象から外れます。
A(b) 区負担分	190,605千円	
A(c) 受益者負担（歳入）	0千円	

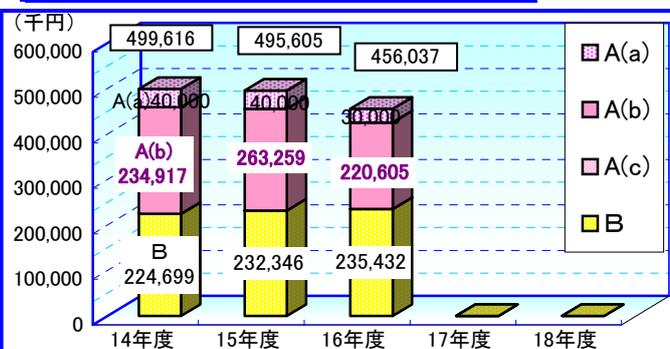
支出内訳 (①~⑦)

① 健康長寿協力湯委託料	202,627千円	各浴場へ支払う事業の委託料
② 事務手数料	15,000千円	入浴証作成、読み取り機器整備等の経費
③ 引換券・封筒等印刷	734千円	
④ 郵便料	600千円	
⑤	千円	
⑥	千円	
⑦ 人件費	1,644千円	

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

235,432千円 入浴料金 1回200円

総事業費の経年変化 (14年度～)



ア 常勤職員	0.2人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

16年度の
 利用一回あたりの経費 **387円**
 利用一回あたりの公費負担分 **187円**

経費の説明

延べ利用回数は増加していますが、委託先である浴場数が年々少なくなっているため、経費は減少傾向にあります。

公費b と利用者負担B は 約 5 : 5 です

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	20	事業名	健康長寿協力湯事業
------	----	-----	-----------

所属名	福祉部 すこやか熟年課 孝行係
-----	-----------------

所 管 課 長 評 価

そう思う ←————→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。			○			
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。					○	
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。	○					
10	経費を削減できる可能性がある。				○		

所 管 部 長 の 意 見

熟年者の利用拡大に努めるとともに、健康づくりの視点から浴場の活用を一層進めていく必要がある。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	20	事業名	健康長寿協力湯事業
-------------	----	------------	-----------

所属名	福祉部 すこやか熟年課 孝行係
------------	-----------------

外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。			○			
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○			
6	受益者負担を検討する必要がある。			○			
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○			
8	民間委託の可能性はある。				○		
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

外部評価委員会の意見

- ・事業の目的が熟年者の健康の保持や増進であることを考えれば、現在の対象者は適切であると思うが、今後は、年齢や収入状況などを加味して対象者の再検討をしてもよいのではないか。
- ・熟年者の健康保持、増進、交流が目的であれば、カラオケなどの方法もありえるのではないか。
- ・この事業の場合、成果指標は年度毎の入浴証交付数よりも累積交付数の方がわかりやすいと思われる。